

於 Y M C A 打合せ会

対しては新学期後からはじめて行くように準備しています。

から意見を出して下さい。

「附近の内に新潟に出張するので、これを機会に大いに働きかけて地方組織を上げるつもりで渡辺」現在自由擁護連盟の方を、

奥田「渡辺さんは自由擁護連盟の方に関係がありますが、友愛の方の意見もどうぞ。

ある。多分を占つてゐる富沢君が努力している筈である。それに友人左南米に行つてゐるの。この事を話して連絡と取り先方の学生を便を遣つて、二世二世と連絡をとつて、国際的な連係をつつた方がよいと思つてゐる。

田嶋さん、國學院大学の方はどうですか。

田嶋 国学院は結構な古い学校で、戦争中は右翼の代表みたいに見られ、孤立的傾向もあるが、今後委員などを通じて学内

が、友誼団体として自由擁護盟を推進していきたい。機軸としては道盟その点を討議するつもりです。

奥田 田嶋さん、社会人としての立場が如何か覺を。

組織をくづつて行きたいと思つた。今、金子君が同学院は右翼の露骨見たいに言われたが、早稲田はレッドバリエ以来その逆である左翼の温床であるかのやうに思はれてゐるが、實際はそんなことを感じてゐる先此の

お稽古もなく中に何人か重宝も見れた。何しろ年末の關係、産生も休んでいながら、新学期となつたに活動するつもりで、

奥田、清生さん共立の方は如何が
ませんか。

小野、高木さんの場から何を
ませんか。

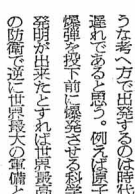
精神活動が起つてあることを知り、興味を引かれ入会しばかりですが、今後職場を通じて活動して見たい。

高木令立川を仕事をしている
係長の方面に活動の基礎を
くように準備を進めているの
すが、忙しいのだからかなは
どらないが、じつりと気長
やつて行きます。母の失敗

云々といふので、学校の組織上形勢的な入会もあるかも知れないが、そんなことは置かなくて、友誼を重んずく体得した人を多く招いたという點で又彼の玄々國策の動意がに

學は新学期、左れば早稲田、右れば同志、通りますました。取やまします。

課田川これで、通りすましたら各自意見ある方などどうも、私から申さねば、選を展開して行くは偏的な得大事である。組織的に



なれない、則ち下から盛り上げる組織である。

宮田「今迄の話を伺って感じた



と知らない世の中ですからね
皆さんそう思いませんか

紙芝居『妻は死なず』と『母心の二編』を白濱大人の紙芝居として感銘を深めたが、会場の時間切となったので、残った打合せを事務所で行うこととして一応閉会した。

百々已之助

カレルギは一九三三年

の意に思ひ出せし
 廬山一郎その人である。首相
 二代五年間に七、八十人もの
 大臣製造をやつてのける新憲
 法を擔ぎ起したのは當時フ
 スの首相兼外相、現國民
 黨長エリオの説得に成功
 からのことである。それ

「政治小説」は一種閑話であること
が常識なものである。
たゞ政治小説家の譚筆で
ある一面を知らなくては
學者であるを知っている
は、吾輩の恥ぢである。

鷹(原) 昇吾とシ民夫では
情出 二郎の縁則 情出 秀夫の
縁則といふ九つ差だつた。
和服姿のサンウツして情出
一郎氏の詩意はいふ超職員
だつた。不思議な人々をま
くたつ。不思議な人々をま
くたつ。不思議な人々をま
くたつ。

だことがあるのだから、ルギ
養水準の低い日本政治
か情熱を注ぎ、そして
『友愛革命の鎖犬』ば
つのメルクマル、女の
う。(筆者は日大教授
日大新聞より転載)著者

ノール平和賞候補
日本女性
を母とする
リヒルド・クナテンホフ・カレル生著

鳩山一郎 譯

自由と人生

B6 判上製 三三〇頁、価二〇〇〇

本村氏の體裁に「く」脱著中の、思つたやうな
圧迫中で、この原書見出し出しと、どういふ事

も日本の政壇としては驚きの点で水準を抜いてゐると
思はれる。まして況んやこれを大の国を治はへ、こゝ
こで馴れた政事をつて遂にするとするほどの慣熟をそ
うに惜まなかつたものか、この人自身が理想をもち
てこの何よの職能である
人誤るといふのなら、これをまた偉大な政治家ともい
うが、自分で親しく筆をうたふに違ひないことは、その
人自身からいふのが、なる所に現れてゐるものと分
る。科多の応酬いふのが、親しく大敵意を起さな
、素直にまごどちやうとつて、敵國を人々から離れてた
此の爲に成政治家のため、寧ろで解題の筆を擧つたのであ

り！再讀して(人類平

『平』最も必然なのは理想である。理想のない政治は、
『低俗』といふべきであらぬのであることは、事實が、
日常の如くは明白せつらした事實である。本邦の出
現で日本の国は安んず、繁榮の無い、ためな政治は、
徐々に排除せつとある。』

◎本書に寄せられた各方面の原稿

一 つ の 爆 弾

馬 場 恒 吾

自由と人生という種々平凡なものを有つ此書の初めの
章が、筆者の雄大な精神の天の霹靂、透つた大光輝で、これ
大なる動物の氣がけつて起り軍であらう。それは餘

悟
 デホフといひては、明神代白本に於ては、徳大寺
 牙利國公使を名ゐる。その人が皇女を嫁して出
 た皇子が本朝の親王である。クレーホフ・カールギが
 訓體の明皇なり、その親王が白政治界の巨頭たる
 山郎氏の手に依つて日本の總督府に紹介せむといふ
 ところ向かへ嚴密の困難である。
 此點は續々歴然たる問題を提起するものに依つて白本
 實に投げたれたる二の爆弾と云へべきだ。
 岩淵辰雄

一 人の師留かなる奇感の發露になつてゐる眞主様の本
を、これ精簡に分析したものは、本書を完ひし他には
なほな。

東京・文京區三軒
振替東京〇〇三八

乾元社

たところ、なかなか好評を得ましたが、地方では東京からくる新聞ということで、すぐ固定読者を求めることが困難で、発行された都度希望する人もあります。又二万

第二 第二章 目的及び事業

第一 本會は友愛精神を基調として青年の団結を図り、政治、經濟、社會及び文化の各方面に亘つて公正なる實を博め、共に、青年の社會に社會勸を擔當し、共助するの責を以て、健康明朗なる社會の素地を自來する文化團の組織を確立することを目とす。

は前條の目的達成のために必要事項を行う。
 第二節 防衛、自衛は制約に生應じ地及び甲上開宗旨を旨とする
 第三節 精神及び民主主義の啓蒙
 第四節 國權の伸張
 第五節 民生文化の發達とする青年運動の展開
 第六節 社會主義に青年運動に關する邊料の調査
 第七節 青年及び社會黨に対する宣傳能力
 第八節 國際運動
 第九節 公體、討論會、座談會、その他各種權力の開催
 第十節 各種刊物の編輯刊行
 第十一節 他本會の目的達成のために必要なる事業

第三章 會員

第一節 會員同様に、當會青年、普通會員とし、本會の目的に協
 同するの義務を負ふ。
 第二節 入會は當會、若以下の紹介により、當會の承認を経る
 第三節 入會費、本會費、若、その他、當會の定するものとする。

部 門 課長、学生部、婦人部の各部長に属せしめる。
 (3) 各部に在りて左の通り職を納入する。
 (1) 個人 会 員……………総額金 1,000円
 (2) 団体 会 員……………日額額金 1,100円
 (3) 費 助 金 員……………日額額金 1,000円
 (4) 納入に会費は、かかる諸君あるのみを徴せしむ。

愛青年同志會會員募集

會申込所
東京市牛久保町神田信託一丁十九
友愛青年同志会連絡事務所
(電話九三三) 三三〇五號

込方法
事務所宛通知書に、由込額を添へて致します。

會金
普通入会金(五十円)と費(一年分前納)を添へる。
金は、金庫章(ハチ)を添へて致す。

記
此會は在日日本人の爲には、人員松より別當相談とす。本全權の各種ものに参加できるほか、本会の事業につき、學業生活の指導その他種々の協助が与えられる。(以下略)

志でお互
では文化
二国の意
なる議論
せよとい
ない。年
たさう、

會 金
 響 兵 久 金 金 五十巴と響 (二ヶ年分酒納) を返す
 記
 是 尊 立 在 平 団 体 中 の 場 合 は、人 員 上 の 別 論 相 臨 と 是

年の卒及び社会活動に對する總體の力
深謝會、茲する青年運動
演會、公職會、討論會、座談會、その他各種物の開催
關於各各種刊行の編輯刊行
その他本會の目的達成のために必要なる事業第
第三章 會 員
の題目、概同するが、青年會、普通會とし、本會の目的に
るもの、を補助會員とする。
に入會は會員、以下にの紹介により、討論會の承認を経る
を要する。

HOOT
HOOT
°

ハ 會社に本會を加入するに當り、前記の第五條と第六條の規定に準じて、本會の各種權利に参加出来るほか、本會の事業について、學生生活の指導その他權限が與へられる。

(一)下略

友愛青年同志會會員募集

●入會申込所

東京市代田區神田保町一丁十九

友愛青年同志會連絡事務所

●申込方法

連絡事務所宛郵便通知されれば、申込書を送り致します。

●入會金

申込書と共に入會金(三十円)と會費(一年分前納)を送添り下されば、會費章(ハチ)を送り致します。

●附記

事務所は單位を団体加入の場合、人員が少くとも別室相談とす。